

2015年度 第2四半期決算説明会

決算総括及び2015年度通期見通し

2015年11月24日

シンフォニアテクノロジー株式会社
(証券コード6507)

Copyright 2015- SINFONIA TECHNOLOGY CO., LTD. JAPAN All Rights Reserved.

響いてこそ技術
SINFONIA

目次

- 2015年度上期決算概要 P.7
- 2015年度業績見通し P.11
- 中期計画の進捗 P.15

概要

- ▶ 創業 : 1917年5月(大正6年)
- ▶ 設立 : 1949年8月(昭和24年)
- ▶ 資本金 : 101億5,696万円
(2015年3月末現在)
- ▶ 従業員 : 連結 3,623人
単独 1,976人
(2015年3月末現在)

拠点

- ▶ 国内 : 単独21拠点
- ▶ 海外 : グループ15拠点
 - 中国 6拠点
 - 東南アジア 5拠点
 - その他アジア 3拠点
 - 北米 1拠点

(ご参考)事業区分

モーション機器

- 航空宇宙
- モーションコントロール機器
車両制御
クラッチ (大崎+SMT^{*1})
サーボアクチュエータ
STT^{*2}
- プリンタ
- 大型搬送システム



*1 SMT ... シンフォニアマイクロテック
*2 STT ... シンフォニアテクノロジー (タイ)

パワーエレクトロニクス機器

- クリーン搬送機器
- 振動機器
振動機・パーツフィーダ
- 自動車試験装置
- 社会インフラシステム
- 産業インフラシステム
- STT^{*2}



サポート&エンジニアリング

- 連結子会社
- シンフォニアエンジニアリング
 - S&Sエンジニアリング
 - その他サービス会社 3社



2015年度上期決算概要

Copyright 2015- SINFONIA TECHNOLOGY CO., LTD. JAPAN All Rights Reserved.

響いてこそ技術
SINFONIA

2015年度上期連結決算総括

単位：億円

	14年度 上期実績	15年度 上期実績	前年同期比		(参考)5/12公表ベース	
			増減額	増減率	上期予想	増減額
受注高	407.6	384.6	▲23.0	▲5.6%	430.0	▲45.4
売上高	327.9	337.9	10.0	3.0%	340.0	▲2.1
営業利益	▲1.3	5.3	6.6	-	4.0	1.3
経常利益	▲1.6	4.2	5.8	-	1.0	3.2
当期利益	▲1.4	2.7	4.1	-	0.0	2.7

- 好調だった米国含め減速傾向強まる海外景況
- 輸出伸び悩みによる国内民間設備投資の鈍化・公共投資は減少傾向
- 前年同期より増収増益
- 対上期予想：受注：未達、売上：微減、利益：達成

セグメント別業績総括

単位:億円

		14年度 上期実績	15年度 上期実績	対前年比		(参考)5/12公表ベース	
				増減額	増減率	上期予想	増減額
モーション機器	売上高 営業利益	164.9 3.9	147.6 2.8	▲17.3 ▲1.1	▲10.4% ▲28.3%	160.0 3.7	▲12.4 ▲0.9
パワーエレクトロ ニクス機器	売上高 営業利益	112.6 ▲3.8	131.0 2.6	18.4 6.4	16.3% -	125.0 0.0	6.0 2.6
サポート& エンジニアリング	売上高 営業利益	83.5 ▲1.0	94.7 ▲0.0	11.2 0.9	13.4% -	98.0 0.3	▲3.3 ▲0.3
消 去	売上高 営業利益	▲33.1 ▲0.4	▲35.4 ▲0.0	▲2.3 0.3	- -	▲43.0 0.0	7.6 ▲0.0
計	売上高 営業利益	327.9 ▲1.3	337.9 5.3	10.0 6.6	3.0% -	340.0 4.0	▲2.1 1.3

- モーション機器:大型搬送、プリンタ、車両制御等の減少により、減収減益
- パワエレ機器:振動機器、クリーン搬送機器の増加により、増収増益
- サポート&エンジ:設備工事の増加などにより、増収増益

7

Copyright 2015- SINFONIA TECHNOLOGY CO., LTD. JAPAN All Rights Reserved.

書いてこそ技術
SINFONIA

セグメント別業績総括(受注実績)

単位:億円

		14年度 上期実績	15年度 上期実績	対前年比		(参考)5/12公表ベース	
				増減額	増減率	上期予想	増減額
モーション機器	受注高 受注残高	159.3 163.3	147.6 171.3	▲11.8 0.8	▲7.4% 4.9%	164.0 -	▲16.4 -
パワーエレクトロ ニクス機器	受注高 受注残高	144.6 134.1	146.6 157.7	1.9 23.6	1.3% 17.6%	169.0 -	▲22.4 -
サポート& エンジニアリング	受注高 受注残高	103.7 92.6	90.5 81.1	▲13.2 ▲11.5	▲12.7% ▲12.4%	97.0 -	▲6.5 -
計	受注高 受注残高	407.6 390.0	384.6 410.0	▲23.0 20.0	▲5.6% 5.1%	430.0 -	▲45.4 -

- モーション機器:プリンタ、車両制御、クラッチブレーキ等が減少
- パワエレ機器:社会インフラ減少も、クリーン搬送機器、自動車試験装置で増加
- サポート&エンジ:太陽光発電パネル設置工事等が減少

8

Copyright 2015- SINFONIA TECHNOLOGY CO., LTD. JAPAN All Rights Reserved.

書いてこそ技術
SINFONIA

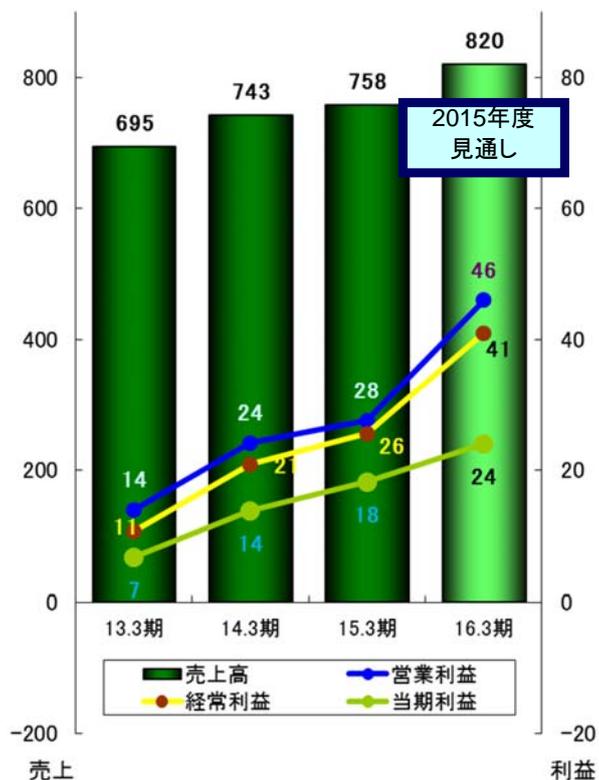
2015年度業績見通し

Copyright 2015- SINFONIA TECHNOLOGY CO., LTD. JAPAN All Rights Reserved.



2015年度連結業績見通し

単位：億円



単位：億円

	14年度 実績	15年度 見通し	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	811.0	870.0	59.0	7.3%
売上高	758.0	820.0	62.0	8.2%
営業利益	27.6	46.0	18.4	66.8%
経常利益	25.5	41.0	15.5	60.5%
当期利益	18.2	24.0	5.8	31.8%

2015年度見通しは、前年度と比べて増収増益

- 社会インフラ、自動車試験装置、振動機器等の増により売上高増
- 売上高増、退職給付会計基準変更時差異償却完了による費用減等により増益

5/12公表値からの変更はなし



セグメント別見通し

単位: 億円

		14年度 実績	15年度 見通し	対前年比	
				増減額	増減率
モーシヨン機器	売上高	338.4	345.0	6.6	2.0%
	営業利益	8.3	13.0	4.7	56.6%
パワーエレクトロニクス機器	売上高	281.1	335.0	53.9	19.2%
	営業利益	9.7	23.0	13.3	137.1%
サポート&エンジニアリング	売上高	213.7	220.0	6.3	2.9%
	営業利益	9.7	10.0	0.3	3.1%
消去	売上高	▲75.2	▲80.0	▲4.8	-
	営業利益	▲0.1	0.0	0.1	-
計	売上高	758.0	820.0	62.0	8.2%
	営業利益	27.6	46.0	18.4	66.8%

- モーシヨン機器: 航空宇宙、サーボアクチュエータ、クラッチ等が増加し、増収増益
- パワエレ機器: 社会インフラ、自動車用試験装置、振動機器等が増加し、増収増益
- サポート&エンジ: 設備工事等が増加し、増収増益

11

Copyright 2015- SINFONIA TECHNOLOGY CO., LTD. JAPAN All Rights Reserved.

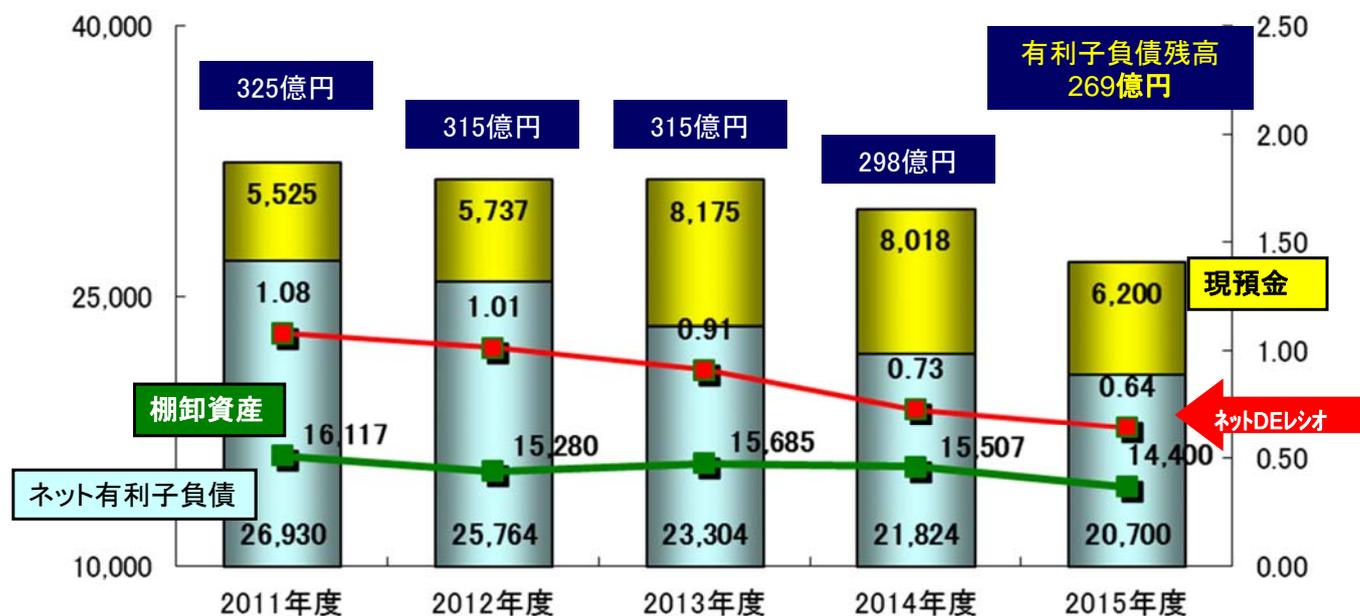
書いてこそ技術
SINFONIA

有利子負債の推移

2016年3月末有利子負債残高は269億円(29億円削減)

ネットDEレシオは0.64倍(0.09ポイント低減)

単位: 百万円



12

Copyright 2015- SINFONIA TECHNOLOGY CO., LTD. JAPAN All Rights Reserved.

書いてこそ技術
SINFONIA

中期計画の進捗

Copyright 2015- SINFONIA TECHNOLOGY CO., LTD. JAPAN All Rights Reserved.

響いてこそ技術
SINFONIA

中期計画概要

BRIDGE100のビジョン

“Motion & Energy Control” 技術で
グローバルに成長

BRIDGE100の基本方針

- 中核事業拡大
- グローバル事業拡大
- 新分野への挑戦
- グループ経営基盤整備



Copyright 2015- SINFONIA TECHNOLOGY CO., LTD. JAPAN All Rights Reserved.

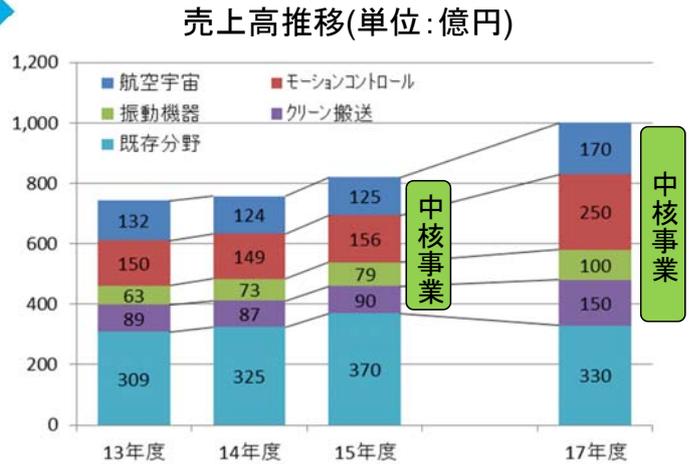
響いてこそ技術
SINFONIA

中核事業の拡大

中期経営計画の基本方針

- ① 中核事業の拡大
- ② グローバル事業の拡大
- ③ 新分野への挑戦
- ④ グループ経営基盤整備

- 航空宇宙事業
- モーションコントロール機器事業
- クリーン搬送機器事業
- 振動機器事業



中核事業の拡大 ① 航空宇宙事業

環境及び方針・取組

- 環境** 防衛国産機調達減、宇宙・民間増加
- 方針** 防衛航空分野(維持)以外で事業の柱を確立
- 取組** 宇宙関連・新装備品向け開発を強化

中期計画の進捗

- 上期** 防衛省向け装備品開発 ⇒ 計画通りの進捗
- 通期** 装備品増も、地上支援設備減見込
- 中計** 民航向け等事業拡大に向けた開発を強化中



宇宙ロケット用サーボアクチュエータ



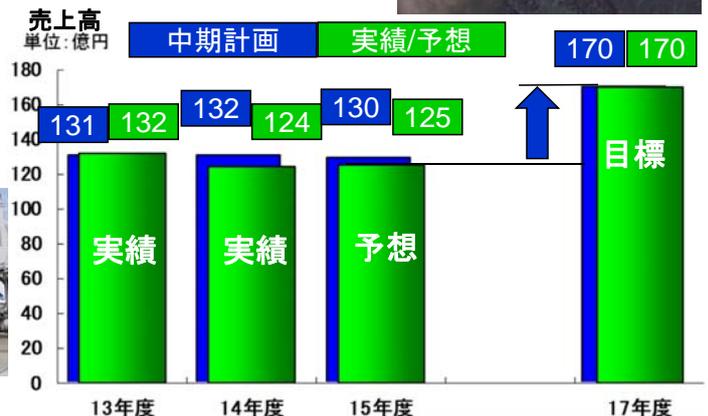
イブシロン JAXA



電動式GSE



航空機用電源車



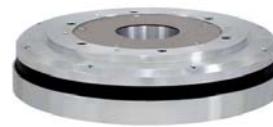
中核事業の拡大 ②モーションコントロール機器事業

環境及び方針・取組

- 環境** 中国を中心とした需要低迷
- 方針** ブレーキ分野注力及び新用途開発推進
- 取組** 用途開拓のための開発推進

中期計画の進捗

- 上期** 中国向け機器の需要減影響で、目標未達
- 通期** 自動車向等用途開拓で中国向け機器の減をカバー
SMTのベトナム拠点稼働準備
- 中計** 自動車、鉄道、車両電動化
市場向用途開拓推進中



薄型DDモータ



パウダクラッチ/ブレーキ



中核事業の拡大 ③クリーン搬送機器事業

環境及び方針・取組

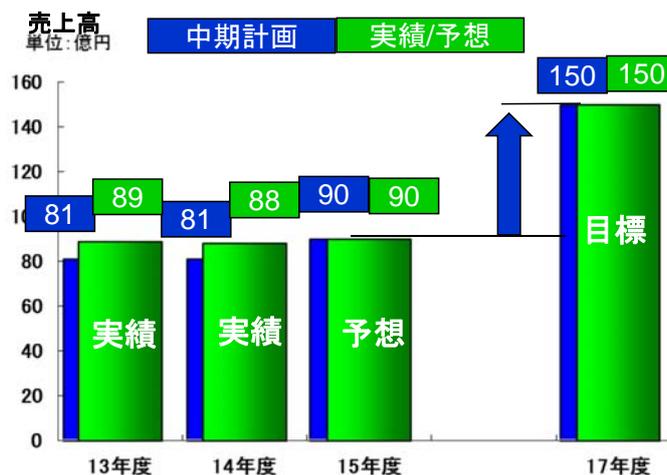
- 環境** メモリー関係を中心に好調維持も、下期にかけて不透明感
- 方針** 半導体業界でのNo1シェア維持と装置特性を活かして新分野(医療)に進出
- 取組** EFEM、N₂や真空系、ハーフ半導体・LED製造プロセス搬送装置の開発に注力



EFEM

中期計画の進捗

- 上期** 好調な設備投資で計画超過達成
- 通期** 市場に不透明感があり、計画通り
- 中計** EFEM、N₂や真空系、ハーフ半導体・LED製造プロセス搬送装置の開発加速中



N₂ロードポート

中核事業の拡大 ④振動機器事業

環境及び方針・取組

環境 食品・合成ゴム・電子部品等好調も東南アジア低調

方針 高付加価値ソリューション、海外展開強化で事業拡大

取組 システム品や機能アップ等の開発推進

スパイラル
エレベータ



中期計画の進捗

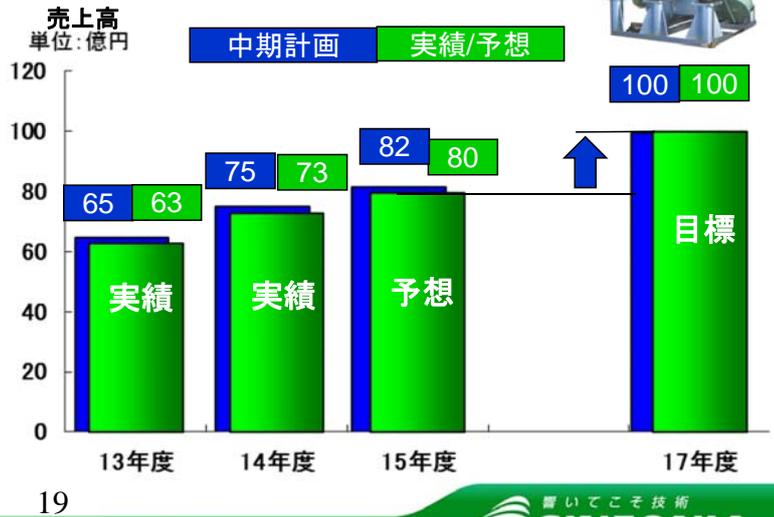
上期 電子部品業界向けが好調で計画通り

通期 大型案件の減少を好調分野でカバー

中計 高付加価値商品の開発順調
海外展開の拠点・体制強化に一層の注力



画像処理システム付
パーツフィーダ

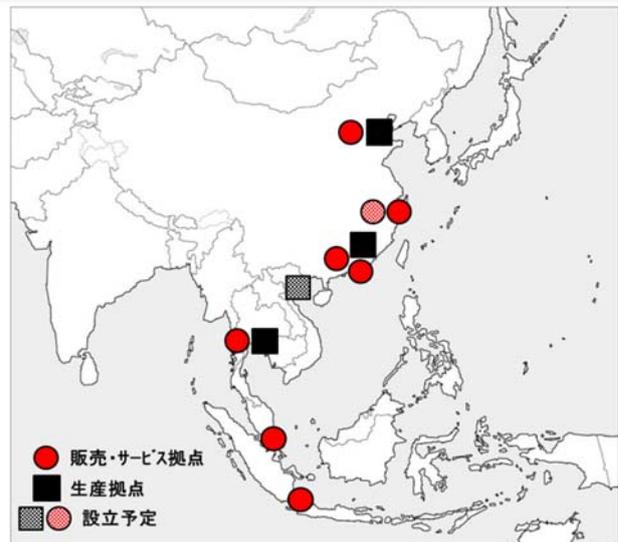


グローバル事業の拡大

中期経営計画の基本方針

- ① 中核事業の拡大
- ② **グローバル事業の拡大**
- ③ 新分野への挑戦
- ④ グループ経営基盤整備

- 国内市場に加え、成長続く中国・アジア市場への事業拡大
- 目標海外売上比率30%



グローバル事業拡大

タイ現地法人を中心とした東南アジア市場戦略

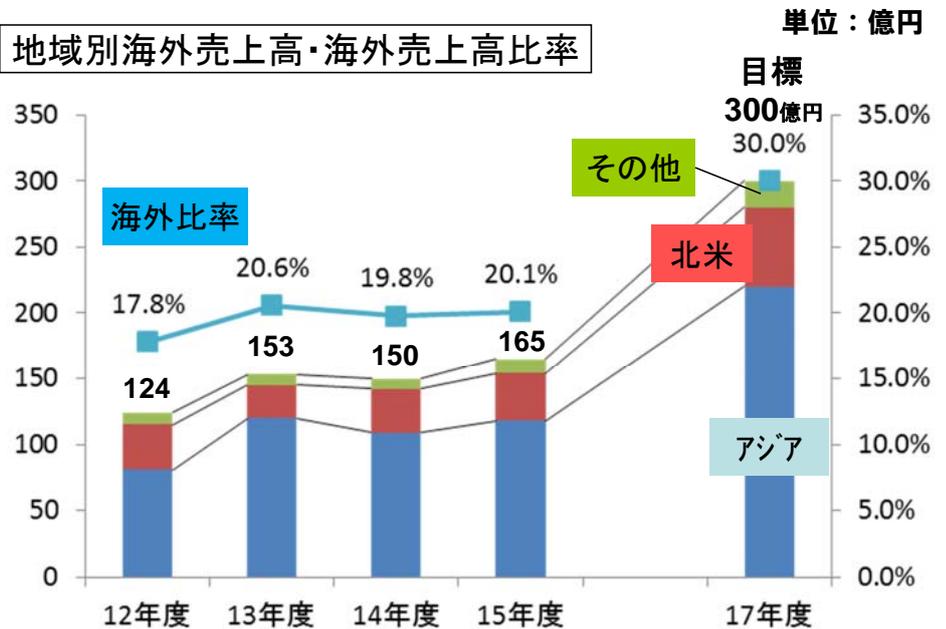
- ▶ タイ現地法人の機能強化
- ▶ シンガポール、インドネシア各拠点での拡販

中国市場戦略

- ▶ 販売メニューの拡充
- ▶ 生産・販売・調達体制の強化
- ▶ シンフォニアエンジニアリングの子会社設立、サービス体制充実化

地産地消をめざし、地域に根差した商品開発推進

地域別海外売上高・海外売上高比率

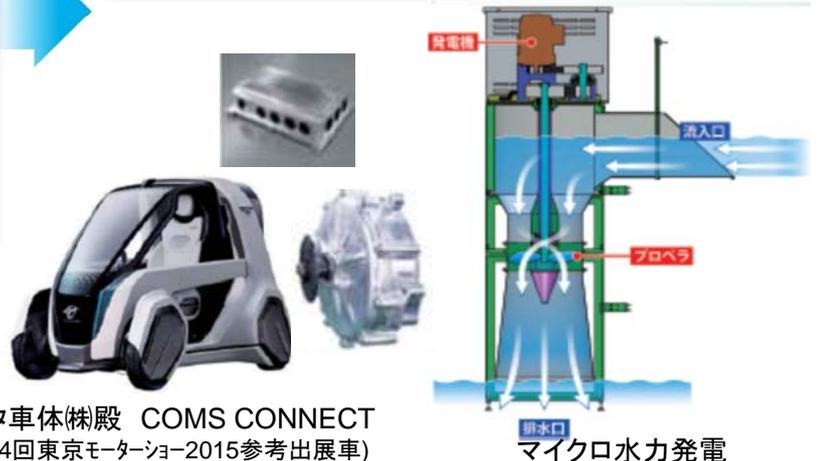


新分野への挑戦

中期経営計画の基本方針

- ① 中核事業の拡大
- ② グローバル事業の拡大
- ③ **新分野への挑戦**
- ④ グループ経営基盤整備

- モーション&エナジーコントロール技術を中心とした開発テーマ推進
- 受注拡大に向け、継続的な新製品開発への取り組み



トヨタ車体(株)殿 COMS CONNECT
(第44回東京モーターショー-2015参考出展車)

マイクロ水力発電

新分野への挑戦

医療・福祉分野

細胞培養搬送技術・装置の開発

- 装置を英国『幹細胞テクノロジーセンター』納入、未解決課題への対応実施中

不要細胞除去技術・装置の開発

- 不要細胞の識別精度向上と早期事業化

ニューモデルトレイライナー拡販

- 300床規模の病院に対応したモデルの開発
- 16年度より販売開始



細胞培養搬送装置



ニューモデルトレイライナー



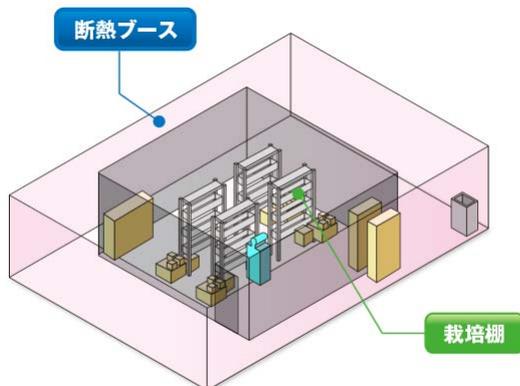
不要細胞除去装置

新分野への挑戦

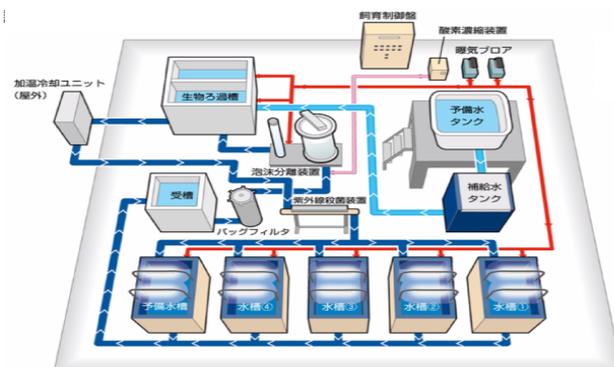
農業・水産業分野

完全人工光型植物工場、閉鎖循環式陸上養殖システムの開発

- 栽培/養殖技術向上
- ビジネスモデル構築



完全人工光型植物工場実証設備



閉鎖循環式陸上養殖実証設備

本資料中の業績予想、見通し及び事業計画については、現時点における将来環境予測等の仮定に基づいております。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。